

令和5年度（2023年度）学校アンケート結果分析

1月末に実施しました学校アンケートにつきましては、今年度もインターネット環境上でのアンケートといたしました。お忙しい中のご協力いただき誠にありがとうございました。また、質問内容は昨年度と統一しており、当該学年の昨年度との経年比較（同じ生徒・保護者が1年前に回答したものとの比較）としております。下記に結果の概要をお知らせいたします。（有効回答保護者数196）

○保護者アンケートから

全アンケートにおける肯定的回答（あてはまる、ややあてはまる）につきましては、90%を超える高い評価をいただいた設問が、3年生で10問中9問、2年生で10問中6問、1年生で10問中2問となりました。このことから、学校の取り組みや状況について、今年度も年を追うことにご理解を多くいただけるものと考えております。なかでも「子どもは楽しそうに学校に通っている」に関しては、全学年の保護者様における半数以上から、強い肯定的評価（あてはまる）の回答をいただいております。ただし、設問6「学校は、少人数授業などの工夫改善を行い、基礎学力向上に努めている」に関して、1年生77%・2年生79%という80%を割り込む結果となりました。本校では、1年生で国語科、2年生で英語科、3年生で数学科において習熟度別少人数授業を展開しております。今後の実施内容を改めて見直すとともに、よりわかりやすい授業展開を計画していく必要性を、改めて認識しております。

また、今年度より、保護者のみなさまに学校の教育活動をご覧いただく機会を、徐々にではありますが再開しております。1学期の授業参観、2学期の体育大会と合唱コンクールなど、制限なしでご案内いたしました。アンケート等では多数のご理解をいただき、誠に恐縮しております。今後も学校通信やホームページ等を活用し、可能な限り、生徒たちの日々の活動を紹介しながら、地域に開かれた学校、保護者や地域とともにある学校に努めてまいります。

最後の「三中をよくするために」という欄に、42名の方から自由記述でご意見をいただきました。一つ一つ検討し参考とさせていただくとともに、今回の結果を学校全体で共有し、今後の生徒指導や学習指導全般での取り組み改善につなげてまいります。なお、学校からの連絡メールに関しましては、次年度より配信方式が変更になり、また保護者様からの連絡ツールとしても活用が可能になる予定です。詳しい内容等は新年度にご案内いたしますが、より迅速で正確な連絡の伝達に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本年度もアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

○生徒アンケートから（3年生のみなさんへ）

全15問中、肯定的回答（あてはまる・ややあてはまる）の占める割合は、90%以上が4問、80%台が8問、70%台が3問ありました。昨年度と比較して顕著な上昇が多く見られました。中でも、「学校は先生と生徒、生徒同士のつながりを大切にしている」と「体育大会や合唱コンクールなど、学校行事は楽しい」です。新型コロナウイルスに関する制限がほぼ無くなり、マスク

越しの会話も少なりつつあります。先生方と生徒、生徒同士も、お互いの表情を見ながら会話できるようになりました。意思伝達も、より円滑にすすめられるようになった結果が現れていると考えています。2年生と比べて、全ての項目で減少傾向にはありませんでしたが、課題としては「生徒会活動や学級活動などには積極的に参加している」においては、依然として遠慮がちな生徒が多く、委員会活動なども毎回同じ生徒が立候補してくれたり、推薦されたりしているようです。どうぞ、卒業後の新たな世界で、思い切って一步踏み出す勇気をもって欲しいと願います。

○生徒アンケートから（2年生のみなさんへ）

全15問中、肯定的回答（あてはまる・ややあてはまる）の占める割合は、90%以上が4問、80%台が7問、70%台が3問、70%未満が1問ありました。昨年度と比較するとほぼ横ばいか若干の減少傾向がある中で、「将来の進路や生き方について考える機会がある」という質問に対しては、昨年度より16ポイントの上昇がみられました。これは、次年度いよいよ最高学年へ進級するみなさんが、高い意識をもって心の準備をしてくれている結果であると考察しています。しかしながら、3年生の結果同様に「生徒会活動や学級活動などには積極的に参加している」においては、30%以上の生徒が、生徒会や委員会にあまり興味を持っていないという事でしょうか。依然として遠慮がちな生徒が多く、生徒会役員や委員会など同じ顔ぶれの生徒が多いことは感じるころですが、どうぞ、次年度は「自分たちの学校を作っていくんだ」という積極的なプラス思考をもって臨んでください。

○生徒アンケートから（1年生のみなさんへ）

全15問中、肯定的回答（あてはまる・ややあてはまる）の占める割合は、90%以上が3問、80%台が4問、70%台が3問、70%未満が5問ありました。1年生についての比較対象は、次年度の2年生から考察します。今年度においては、肯定的回答割合が70%未満の調査項目のなかから、次年度に向けての課題を考えます。「学校の授業はわかりやすく楽しい」「第三中学校が好きで学校へ行くのが楽しい」「先生は、悩み事などの相談に親身になって応じてくれる」「生徒会活動や学級活動などには積極的に参加している」「これまでに受けた少人数授業により学習意欲は高まった」という項目において、70%未満の回答結果となりました。1年生という事もあり、「生徒会活動」や「委員会活動」への参加機会はまだまだ少ない状況ではありますが、約30%以上の生徒が、学校があまり楽しくない、授業がよく分からない、少人数授業を受けているが意欲が高まらない、先生に相談する機会や時間が少ない、という気持ちを持っています。この結果を真摯に受け止め、1年生学年教職員集団を中心に「チーム学校」として、さらなる学力向上と学ぶ意欲の向上を目的とした授業改善、学校生活においての様々な場面での自尊感情醸成、教職員カウンセリングマインドの向上を念頭に、次年度へ向けた準備を進めていきます。